

認知症になっても安心して暮らせる地域づくり

誰もが認知症になる可能性があります。認知症になっても、家族や周囲の人が本人の個性を尊重し、優しさや思いやりを持って寄り添えば、自宅で長く穏やかに暮らせます。

津市では認知症サポーター養成講座などを通じて認知症への理解を広め、誰もが認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座は認知症に対する正しい知識を学ぶ講座です。5人以上の団体を対象に実施し、受講者には認知症サポーターの証として、オレンジリングをお渡ししています。認知症サポーターは認知症を理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」です。地域で困っている人がいれば自分のできる範囲で手助けするなど、認知症サポーターとして活動してみませんか。詳しくは地域包括ケア推進室にお問い合わせください。



認知症サポーターステップアップ講座～認知症サポーターへさらなる学びを提供～

認知症サポーター養成講座を受講した人が、「チームオレンジ・あしたば」の一員として活動するための学びの場として、認知症サポーターステップアップ講座を実施します。

と き 10月24日(火)10時～15時

ところ 西部市民センター

対 象 市内に在住・在勤・在学の認知症サポーター養成講座修了者で、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの活動に関心のある人

定員 先着50人

申し込み 電話またはファクスで地域包括ケア推進室へ

申込開始日 9月25日(月)



講座の様子

チームオレンジ・あしたば

令和元年6月に国により取りまとめられた「認知症施策推進大綱」では、ステップアップ講座を受講した認知症サポーターなどが支援チームを作り、認知症の人やその家族への具体的な支援につなげる仕組み「チームオレンジ」を地域ごとに構築することが決められました。

津市では、ステップアップ講座を修了した有志の皆さんによる「チームオレンジ・あしたば」が令和3年12月に発足し、認知症に対する地域への

啓発、認知症サポーター養成講座の開催、認知症の人への個別支援(話し相手、定期的な見守り等)、認知症カフェへの参加など、できる範囲の取り組みを通じて、認知症の人やその家族が安心して暮らせる地域づくりを目指し活動しています。活動に関心のある人は「チームオレンジ・あしたば」事務局(津中部西地域包括支援センター内、☎237-2018)へお問い合わせください。



オレンジウォーク津

認知症支援の普及・啓発を目的とした「オレンジウォーク津」を昨年11月23日に県総合文化センター周辺で初めて実施し、啓発チラシを配りました。



模擬認知症カフェ

認知症の人やその家族が地域の人などと情報を共有し、交流する場である模擬認知症カフェを、オレンジウォーク津と同時開催しました。メンバーの特技などを生かしてアロママッサージ等も実施しました。

「チームオレンジ・あしたば」の由来

次々と若葉が出る「明日葉(あしたば)」のように、今日より明日、明日より明後日と、一歩ずつ認知症の人とその家族が安心して暮らせるまちづくりを目指すという思いをこめて命名されました。